

## キウイフルーツの果実肥大に関する試験

第1報 結果枝長および葉果比がモンティの果実形質に及ぼす影響

林田誠剛・岸野 功 (長崎県果樹試験場)

Seigou HAYASHIDA and Isao KISHINO : Fruit Growth on Kiwifruit.

### 1. Influence of Bearing Shoot Length and Leaf-fruit Ratio on Fruit Size and Quality of 'Monty' Kiwifruit

近年、急速に栽培面積が増加しているキウイフルーツでは、その栽培上、大果生産が求められている。そこで、結果枝の長さおよび葉果比と果実形質との関係について検討したので、その概要を報告する。

#### 1. 試験方法

長崎県果樹試験場内の5年生のモンティを供試し、満開後23日目の1983年6月9日に結果枝の長さおよび葉果比を組合せた摘果を行った。果実は11月13日に収穫をし、果実重を測定したのち厚さ0.02mmのポリエチレンフィルムで包装し、常温下で追熟を行った。追熟完了後の12月16日に果実品質を調査した。さらに、摘果時の結果枝長および葉果比とその後の結果枝の伸長をみるため、収穫後に結果枝長を測定し、次式により結果枝伸長率を算出した。

$$\text{結果枝伸長率} = \frac{\text{収穫時の結果枝長}}{\text{摘果時の結果枝長}} \times 100$$

第1表 結果枝長、葉果比と一果平均重の関係

| 結果枝長<br>葉果比 | 20cm未満 | 20~50cm | 50~150cm | 150cm以上 | 平均   |
|-------------|--------|---------|----------|---------|------|
| 3未満         | 80.0   | 88.3    | 87.1     | 81.4    | 81.4 |
| 3~6         | 85.4   | 86.3    | 94.8     | 95.6    | 89.0 |
| 6~9         | 88.2   | 101.2   | 90.5     | 90.8    | 90.0 |
| 9以上         |        | 87.0    | 91.7     |         | 89.0 |
| 平均          | 83.3   | 88.1    | 92.5     | 94.5    |      |

#### 2. 試験結果

1) 1果平均重と葉果比との関係は摘果時の結果枝長で異なり、結果枝長が20cm未満では葉果比が大きくなるにつれて重くなる傾向を示した。結果枝長が20~50cmでは葉果比6~9で、結果枝長が50cm以上になると、葉果比3~6で最も重くなるようであった。

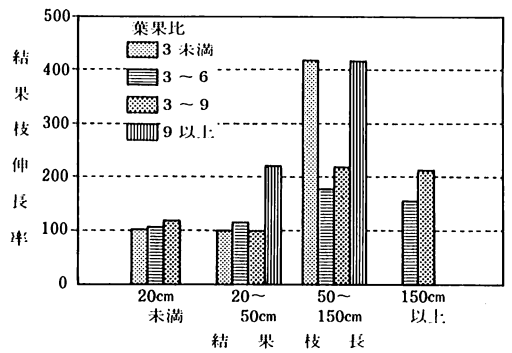
2) 結果枝伸長率は結果枝長50cm以下では葉果比9以上を除くと100~120%であり、結果枝が摘果後ほとんど伸びない状態では葉果比が高くなるにつれて1果平均重が重くなる傾向にあった。

3) 結果枝長が50cm以上で葉果比が6以上では結果枝伸長率が200%以上となっており、結果枝が摘果後伸びすぎた場合には果実肥大は悪くなるようである。

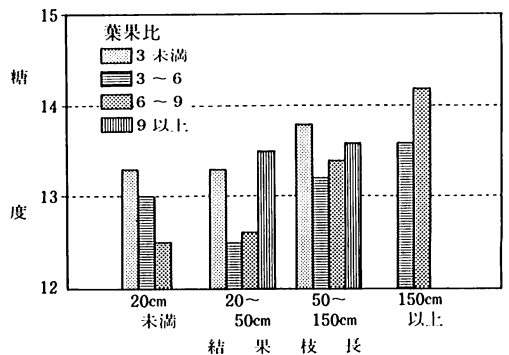
4) 糖度は摘果時に長い結果枝ほど高くなる傾向がみられたが、葉果比では一定の傾向はみられなかった。また、酸含量も結果枝の長さや葉果比の違いによる差は認

められなかった。

果実の大きさは摘果後の枝の伸長と密接な関係があると考えられ、今後結果枝や樹体内の養分の転流、消費について検討が必要と思われる。



第1図 結果枝長、葉果比と結果枝伸長率の関係



第2図 結果枝長、葉果比と糖度の関係